

最先端の技術と顧客のニーズに合わせた 熱交換器の開発・製造・販売

創業から100年以上に渡り、主に蒸気を熱源とした熱交換器を顧客のニーズに合わせて開発・製造・販売を行っている。1929年に日本初のエロフィンチューブの製法を完成し、特許を取得。1966年に各種ヒーター、クーラー、熱交換器の専門メーカーとして、井上ヒーター株式会社を設立し現在に至る。各種装置においての温度、湿度及び圧力制御技術を有し、社内一貫製作で高品質、納期厳守に対応している。2018年に、ひょうご産業活性化センターから「成長期待企業」に選定される。

- 所在地 兵庫県西宮市西宮浜4-1-43
- 電話/FAX 0798-37-0501 / 0798-37-0530
- URL <http://www.ihc-japan.co.jp/>
- 代表者 代表取締役社長 井上 雅晴

- 設立 1912年
- 資本金 3,200万円
- 従業員数 30人



CAEや先端設備の導入及び外国人技術者の雇用

高齢化、人手不足等の課題に対し、積極的にCAEや先端設備を導入し、自動化、省力化、無人化などの取り組みを推進している。先端設備の導入事例としては、全自動プレートフィン圧入機を設置し、切断したチューブにアルミまたはステンレス製のフィンを一枚ずつ差し込み、プレスする工程を無人化する。或いは、ロボット溶接機を導入し、容易な部分加工など約2割の自動化を実現するなどがある。同社は、さらに外国人技術者を直接雇用するなどの対策もしている。



全自動プレートフィン圧入機

ムダのない安全な工場を目指す

ITの利活用により各種熱交換器製造の膨大なノウハウをデータベース化し、蓄積している。また全社を挙げて「世界一ムダのない安全な工場にしよう!」を掲げ、製品を作るときに発生する端材の減量化、部材等の調達改善や効率的な工程策定など、コストダウン、生産性向上に取り組む成果を挙げている。

製造部門では自社内の厳しい基準で設定した品質管理マニュアルに基づき、製品の不具合をゼロにするための取組を行っている。



井上ヒーター株式会社の本社工場

社員教育の促進

同社は他メーカーと一線を画す「クリエイティブ・ファクトリー」を目指しており、顧客からのあらゆるニーズに応えられるよう社員には既成概念にとらわれないフレキシビリティと形に変える技術力の醸成や多能工化を図っている。また1世紀を超えた歴史と伝統を胸に刻んで質の高い製品づくりを徹底するために社内認定制度を用いて、技術の伝承に努めている。さらに組織体制については、営業部、技術部、製造部の3部門のネットワークを駆使して熱交換器に対する様々な顧客ニーズの実現に努めている。



改善点を話し合う製販一体のミーティング